

熊本県阿蘇家畜保健衛生所

〒869-2612 阿蘇市一の宮町宮地2639-1

TEL 0967-22-0041 FAX 0967-22-4612



豚流行性下痢ウイルスに対する踏込槽の消毒効果について

各農場では防疫対策として踏込消毒槽が設置されていますが、使用する薬剤の状態によっては、効果を十分に発揮できない場合があります。

そこで、今回、国内で大流行した豚流行性下痢（PED）ウイルスに対する市販消毒薬の消毒効果を検証した試験成績についてご紹介します。

～長崎県中央家保 H27年度業績発表より～

①市販消毒薬の消毒効果はいつまで続く？感作時間や温度で変わる？

試験に供したすべての消毒薬は室温、短時間でも有効でしたが、その多くは低温（4℃）、短時間（5秒）感作では効果が低下しました。

逆性石けんは汚れてなくても3日目には交換が必要

表1 有機物（糞便）非添加時の消毒効果

試験条件 薬剤名	室温、 10分感作				4℃ 10分	室温 5秒
	作成直後	1日後	2日後	3日後		
アルデヒド製剤	◎	◎	◎	◎	○	×
逆性石鹼	◎	○	○	×	○	○
ヨード剤	◎	○	○	○	○	×
塩素剤	◎	◎	◎	◎	○	○
オルソ剤	◎	◎	◎	◎	◎	○
消石灰	◎	◎	◎	◎	×	×
消石灰+逆性石鹼	○	○	○	○	○	○

◎：大変有効 ○：有効 ×：効果低い

消石灰水溶液は冬季の消毒効果が得られにくい

逆性石鹼、塩素剤、オルソ剤は即効性がある

②汚れた消毒液は効果があるのか？

逆性石鹼及びヨード剤は、豚糞10%添加時は全く消毒効果は認められませんでした。

その一方、オルソ剤や消石灰水溶液は汚れていても効果が持続しました。

表2 有機物（豚糞）添加時の消毒効果

試験条件 薬剤名	室温、10分感作				室温、5秒感作		
	30分後	1日後	2日後	3日後	1日後	2日後	3日後
アルデヒド製剤	○	○	○	○	×	×	×
逆性石鹼	×	×	×	×	×	×	×
ヨード剤	×	×	×	×	×	×	×
塩素剤	○	○	×	×	○	×	×
オルソ剤	◎	◎	◎	○	○	○	○
消石灰	◎	◎	◎	◎	×	×	×
消石灰+逆性石鹼	○	○	○	○	○	×	×

◎：大変有効 ○：有効 ×：効果低い

特に逆性石鹼とヨード剤は汚れた場合に効果が得られにくい

オルソ剤や消石灰水溶液は汚れても効果が持続

③試験成績のまとめ

今回の試験で使用した消毒薬は、PEDウイルスに対して全て有効でしたが、多くの薬剤は汚れがあったり、低温や短時間では効果が低下しました。

踏込消毒には、汚れがあっても即効性と持続性が期待できるオルソ剤、塩素剤が最も効果的で、逆性石鹼を使用する場合は頻繁に交換するか、石灰を混ぜると石灰のpH調整作用により、持続した効果が期待できます。

また、畜舎消毒には、汚れのない条件（清掃した後）で持続性が期待できるアルデヒド製剤や塩素剤、消石灰を使うと効果的です。

（参考）市販されている主な消毒薬の名称

- アルデヒド製剤：グルタクリン、グルターZなど
- 塩素剤：クレンテ、アンテックビルコンSなど
- 逆性石鹼：パコマ、アストップ、ロンテクト、クリアキル、パンパックスなど
- オルソ剤：タナベゾール、ゼクトン、トライキルなど
- ヨード剤：クリナップA、バイオシッドなど

定期報告書の提出をお願いします

平成23年度より、家畜伝染病予防法第12条の4第1項の規定に基づき、家畜飼養者は毎年2月1日現在の家畜の飼養状況について、県に毎年1回報告することが義務付けられました。そのため、家畜（※表1の赤二重枠で書かれた動物）を**1頭(羽)以上飼養する方**は家畜伝染病予防法に基づく**定期報告書の提出が必要です**。

① 畜産農家の方は、「家畜伝染病予防法及び畜産統計に係る調査表」が送付されておりますので期限までに、各市町村に報告をお願いします。

② 小規模飼養者※の方は、各市町村から様式を送付しておりますので記入し、報告をお願いします。

なお、様式が送られてきていないという方は、最寄りの市町村畜産担当部署、又は各家畜保健衛生所までご連絡ください。熊本県のホームページにも様式を掲載しています。以下のURLからご覧下さい。

☆県ホームページ URL : http://www.pref.kumamoto.jp/kiji_6856.html

(表1) 小規模飼養者とは下記の頭羽数上限以内の家畜を飼養する方

	動物種	頭羽数上限
1	牛・水牛・馬(ポニーを含む)	1頭まで
2	豚(ミニブタを含む)・いのしし・めん羊・山羊・鹿	6頭未満
3	鶏・あひる・うずら・きじ・ホロホロ鳥・七面鳥	100羽未満
4	ダチョウ	10羽未満



近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型	
口蹄疫	韓国	2月17日	豚	O型	
		2月24日	豚	O型	
高病原性鳥インフルエンザ	台湾	2月5日	鶏	H5N2	
		2月10日	がちょう	H5N2	
		2月11日	地鶏	H5N2	
	香港	2月14日	がちょう	H5N2	
		中国	2月14日	鶏	H5N6
		中国	2月20日	家さん	H5N6
ベトナム	2月11日	家さん	H5N6		
	2月15日	家さん	H5N1		

2月29日現在

毎月20日は家畜防疫の日

毎月20日は飼養衛生管理基準の自己チェックおよび農場消毒を行う日です。口蹄疫や鳥インフルエンザ、PED等の家畜伝染性疾病の侵入を防ぎ発生を予防するためには、地域全体の衛生水準を上げる事が重要です。

農場を守るため、**20日の飼養衛生管理の自己チェックと消毒を習慣化**させましょう！

防災情報や家畜伝染病発生情報を配信しています。

下記アドレスもしくは右のQRコードより、登録用ホームページへ！

<http://www.anshin.pref.kumamoto.jp/>

